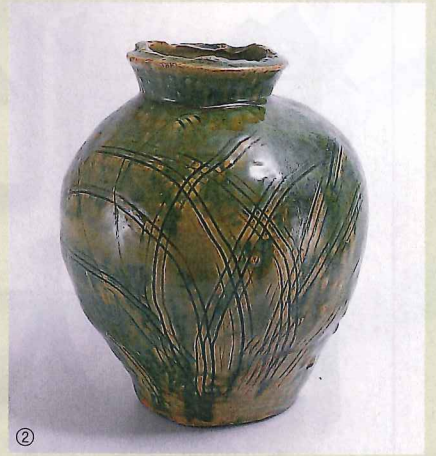


北大路 魯山人展

第5室特別企画展示



①



②



③

北大路魯山人は明治16年、京都の社家に生まれました。養子に出されるなど不遇な少年時代を過ごしましたが、10代の頃より日本画に傾倒し、働きながら独学で書画の才を磨きました。20歳の時、書道修行のため東京に出ますが、翌年みごとに「大日本書道展」に入賞し、書家として出発しました。

書家としての魯山人は当時の高名な日本画家の落款を軒並み依頼されるなど、活躍しましたが、その後、高級料亭を経営しながら、食と器にこだわり続け、自ら作陶することによって、自身の理想とする器の美を完成させました。今回の展覧会では書画11点を含む70点あまりの魯山人作品を展示し、魯山人の目指した日本美の世界をお楽しみいただきます。

① 乾山風 絵変平向付 十客のうち 161×15mm
② 於里辺 野草彫花入 176×222mm
③ 金らむ手 鉢 209×98mm

交通機関

【自動車】東名阪〔四日市IC〕より国道477号線(湯の山街道)を湯の山方面へ約6.5km

無料駐車場(普通車100台、大型バス駐車可)

【電車】近鉄〔四日市駅〕下車、近鉄湯の山線に乗り換え約25分〔大羽根園駅〕下車、西へ300m、477号線沿い北側全館バリアフリー対応、常備車椅子4台

問い合わせ先: paramita museum

〒510-1245 三重県三重郡菟野町大羽根園松ヶ枝町21-6 Tel.0593-91-1088 Fax.0593-91-1077

http://www.paramitamuseum.com E-mail=office@paramitamuseum.com

paramitamuseum
財団法人岡田文化財団



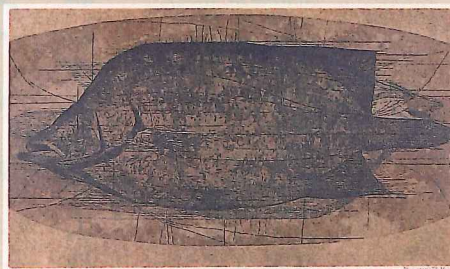
- ① 麻生三郎 裸婦 水彩 255×220mm
- ② 小嶋三郎一 蓮の花 油彩 30F
- ③ 福井良之助 魚 エッチング 205×355mm
- ④ 片岡球子 面構 北斎と富士 日本画 100号



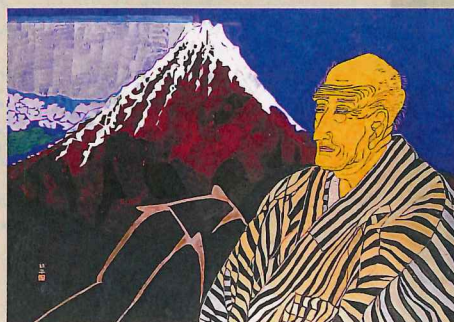
①



②



③



④

大正から昭和初期にかけての日本の画壇は西洋から移入された新しい絵画思想に塗りつぶされた感があります。「抽象画」と「超現実主義」が当時の最先端の絵画とされたのです。その波が一段落したころ、戦争をはさんだ激動の時代の中であって、新しい絵画潮流を消化し独自の表現を追及する画家たちが現れます。彼らは昭和の後半に際限なく先鋭化していく現代美術の流れとの中間に位置する画家たちともいえるでしょう。今回の展覧会ではパラミタミュージアム所蔵のコレクションより30人の作品を選び、それぞれの画家の独自の表現をご覧ください。

第4室2Fギャラリー企画展示

昭和を生きた 画家たち展

—パラミタコレクションより30人を選んで—